

埼玉県議会議員

無所属

すがわら文仁



【略歴】昭和50年7月30日生まれ(40歳) 戸田市立美谷本小学校・美笹中学校卒 埼玉県立伊奈学園総合高校卒 日本体育大学卒(教員免許取得) 明治大学大学院修了(公共政策学修士) 元社会体育会代表 平成17年～23年戸田市議会議員(2期) 平成23年県議会議員に初当選 平成27年再選 会派「無所属県民会議」総務会長、議会運営委員、文教常任委員、自然再生・循環社会対策特別委員 青年地方議員の会副会長 埼玉県体操協会副会長 埼玉坂本龍馬会幹事 日本自治体危機管理学会会員 【趣味】読書 史跡巡り B級グルメ探し 【特技】バク転 のび太並みの早寝 【座右の銘】上杉鷹山翁の「なせば成る、なさねば成らぬ、何事も」 【家族】父・母・妻・娘・息子・犬 【夢】努力した者が報われる社会を実現すること 【自宅】戸田市美女木8-21-6

発行 無所属県民会議戸田支部 (菅原文仁)
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
TEL/FAX 048-432-3585
HP sugawarafumihito.com
Email mail@sugawarafumihito.com

「すがわらレポート」は、定期的に発行する気軽な県政報告です。

年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます。皆様、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は4月に統一地方選挙があり、皆さまのご支持ご支援により引き続き議席を賜うことができました。今年も「なせば成る」の信念で県民本位の政策を実現してまいります。

さて、今年各地方自治体において「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、人口減少対策が具体的に展開される予定となっております。

人口が減少すると、それに伴う労働人口の減少と消費の縮小により、国全体の経済規模が収縮します。特に少子高齢化の人口構造においては、現役世代の社会保障費の負担を増加させて消費を落込ませ、経済成長にマイナスの影響を与えることとなります。そして長期的には税収不足と財政悪化をもたらす、増税による国民負担の増加を余儀なくし、年金・医療・介護の給付水準のみならず、行政サービスの減少・縮小を招くこととなります。

こういった「負のスパイラル」に歯止めをかけるには、どうすればよいのでしょうか。厚生労働省の調査によると、夫婦の理想の子供数は平均「2.42人」です。しかし、子供を増やせない理由の第1位は「子育て・教育にお金がかかり過ぎる」となっております。このことから、人口減少対策の本筋は、若年層の経済環境の改善にあるのではないかと思います。

これまでの子育て支援策を進めつつ、今後は働き方を含めた雇用対策の充実を具体的に進め、本当の意味で安定した経済環境を生み出すことが重要だと思います。

私は今年を、若者が安定した質の高い雇用の中で安心して子供を産み育てられる環境を実現し、将来に不安なく生活できる社会を埼玉県そして戸田市から構築する端緒の年にしたいと決意しております。どうぞ引き続きご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、今年一年、皆様のご健勝・ご多幸を心からお祈りし、年頭のご挨拶といたします。

菅原文仁

すがわら文仁 最新ニュース

会派を代表して本会議で賛成討論！



10月～12月までの約2か月間にわたり「決算特別委員会」で審査を行った平成26年度の決算関連2議案について、会派を代表して賛成討論を行いました。

埼玉県議会議員 すがわら文仁

平成28年 新春のつどい

新春のつどいを開催することとなりました。下記の通りご案内申し上げます。ご参加を心からお待ちしております。

とき **2月27日(土) 開会 14:00(受付 13:30)**
ところ **戸田市文化会館4階 羽衣の間**
会費 **2,000円**

【お問い合わせ先】 担当：矢澤
電話/FAX **048-432-3585**
E-mail **mail@sugawarafumihito.com**

12月定例会報告 (12月2日～12月22日)

▼知事提出議案の主な内容

知事提出の議案は9月の継続分2件(平成26年度決算に関するもの)を合わせて65件あり、64議案が原案通り可決・認定・同意され、1議案(埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略)が継続審査となりました。なお今定例会は、臨時国会が見送られ、補正すべき予算がなかったため補正予算案の提出はありませんでした。12月定例会に補正予算案が提出されないのは「戦後初」とのことです。無所属県民会議はすべての議案に賛成しました。

▼議員提出議案の主な内容

議員提出の議案は9件あり、9議案(議案1、決議2、意見書6)が可決しました。無所属県民会議は7議案を賛成し2議案(高等学校入学選抜に係る教育長の権限の見直しを求める決議、公営企業の事業範囲の見直しを求める決議)に反対しました。会派からは「政府関係機関の地方移転に反対する意見書」の原案を提出し、委員会提出として意見書が可決しました。

本人の活動写真



10月24日(市内) 商工祭の開会式でご挨拶



11月5日(県議会) 決算特別委員会の会議後(ちょっと疲れた?)



11月11日(上尾市) 上尾鷹の台高校にてアクティブラーニング授業を視察



11月15日(市内) 戸田マラソン完走!(10キロの部)



12月11日(県議会) 吉良県議の質問後セレモニーにて(上田知事と会派所属議員)



12月15日(県庁) 県庁記者クラブにて強引な議会運営に対する抗議声明を発表

統計からみる	総人口(人)	人口増減率(増)	平均年齢(歳)	市町村民所得(万円)	生活保護率(%)	納税率(%)	市町村道舗装率(%)	下水道普及率(%)	犯罪率(件/100)	人身事故発生率(件/100)
埼玉県	H27.12 7,258,643	2.2	44.5	278.5	1.3	93.5	69.6	78.6	11.7	4.6
埼玉県と戸田市	H27.12 135,132	1位 20.2	1位 39.7	1位 355.0	7位 1.6	14位 94.8	1位 99.0	13位 87.2	3位 16.4	11位 5.5

※総人口以外は「統計からみた埼玉県市町村のすがた2015」より引用

6つの意見書に賛成。2つの決議に反対！

決議・意見書

- 反対** 高等学校入学者選抜に係る教育長の権限の見直しを求める決議 **可決**
- 反対** 公営企業の事業範囲の見直しを求める決議 **可決**
- 賛成** 介護職員の処遇改善施策の強化を求める意見書 **可決**
- 賛成** 利便性の高い道路ネットワークの整備促進を求める意見書 **可決**
- 賛成** 奨学金制度の改善を求める意見書 **可決**
- 賛成** 脳脊髄液減少症に対するブラッドパッチ療法の保険適用等を求める意見書 **可決**
- 賛成** 政府関係機関の地方移転に関する意見書 **可決**
- 賛成** 鉄道網の整備推進を求める意見書 **可決**

「高等学校入学者選抜に係る教育長の権限の見直しを求める決議」の反対理由

決議では、平成29年度から適用される学力検査の改善の事務を委任されている教育長が教育委員会に逐一報告をしておらず、教育委員会に対する配慮を欠いているので「教育長の権限見直し」を求める、としています。

しかし、そもそも公立高校入学者選抜の事務は、教育委員長から教育長に規則に基づいて委任されているものであり、「教育長の権限を見直せ」と教育長に求めるのは筋違いです。

この問題の核心は、事務を委任している教育委員会と委任される側の事務方である教育長の「職務における意思疎通」の問題です。これについて教育長は、議会答弁でも今後の改善を約束しました。

よって、この決議は物事の本質を見誤っているのと同時に、事実誤認に基づくものであり議論するに値しないものであるため、「反対」としました。

「公営企業の事業範囲の見直しを求める決議」の反対理由

企業局は独自の権限を有する管理者を設置し、独立採算を原則として合理的な判断の中で公益的な事業を行ない収益の確保をはかっています。これまでも、例えば次世代産業や先端産業に参入する県内企業への支援の原資として県に100億円を還元するなど、県の行財政運営に多大な貢献をしております。県議会では昨年2月定例会において、企業局の事業範囲を拡げ、地域振興に資する施設・墓園・公園施設を整備、あるいは管理できるよう、条例を改正したところです（全会一致で可決）。

決議では、企業局が今般「緑ゆたかなメモリアルガーデン事業（公営墓地）」および「県北・秩父地域振興施設の整備事業（深谷アウトレット）」について、計画見直しを行ったことに対し「県が無駄に事業を展開していた」と切り捨て、事業範囲を元に戻すよう見直しを求める、としています。

しかし、メモリアルガーデン（公営墓地）に関しては、企業局としては詳細な調査を行って需要予測が先送りされたに過ぎず、いずれ県民の墓地不足問題が表面化することは間違いありません。また県北・秩父地域の整備事業（深谷アウトレット）についても、民間事業者による事業実施という「不測の事態」が生じたために見合わせることに過ぎません。そして何よりも、条例改正から1年も経過していない間に、議会で議決したことを「もう一度戻せ」と決議する、議会としての責任をどう考えているのか理解できません。

よってこの決議は、拙速な判断であるばかりでなく、議会自らの存在を否定する無責任なものであるために「反対」としました。

多数決で押し切るやり方は政治の邪道！

報道各社が伝えている通り、昨年の知事選以降、自民党県議団による知事はじめとする執行部に対する執拗な攻撃が一向に収まる気配がありません。93名中53名という圧倒的な数的優位を誇る同県議団は、議会運営についても以前のように会派間の調整をはかることがほとんど無くなり、9月定例会以降、独裁の色をより濃くしていることは明らかです。

議員間や会派間において、知事の議案に対する意見の相違や対立はあって然るべきです。しかし、意見書や決議という議会としての「意思」の表明は、まず全会派の意見の一致を目指すのが筋であり、仮に合意に至らないのであれば、それは取り下げるべきです。

会派間のコンセンサスを得ようともせず、手あたり次第に熟慮もせず決議を連発して多数決で押し切るやり方は、私に言わせれば「政治の邪道」であり、まさに「数の驕り」そのものです。それこそ議会制民主主義の破壊に繋がる行為にほかなりません。



▼決算特別委員会報告

提案項目数、全議員中ダントツ1位！

9月定例会に提出された議案「平成26年度埼玉県の一般会計及び特別会計決算の認定」および「平成26年度埼玉県公営企業会計決算の認定」については、「決算特別委員会」が設置され、10月～12月までの約2か月間にわたり審査を行いました。

私は、会派「無所属県民会議」を代表して決算特別委員会の委員となり、全日程で全ての部局に質問・提案を行ないました。12月定例会の最終日には、決算関連議案に関する採決があり、会派を代表して認定に賛成の立場で討論を行い、賛成多数で可決されました。

埼玉県の決算総額は一般会計だけ見ても約1兆7500億円あり、市町村とは異なってあらゆる行政サービスを網羅しております。県民の大切な予算を預かる議員にとって、その使い道の決定（予算）と認定（決算）とは、ある意味で一番重要な仕事と言えます。

そういった意味でも、慎重かつ綿密な調査を行ない、私の指摘事項を次年度の予算に反映させることを目標にして審査に臨みました。

決算特別委員会では、毎年「改善又は検討を要する事項」という各会派からの提案を調整の上、次年度予算へ反映させるべき事を項目化して執行部に提案しております。

提案項目は、全会派が一致したものが採用されますが、今回、私が提案して議会の要望となった項目は、結果として109項目中33項目（約30%）であり、18名の委員の中で断トツの1位でした。委員会における主要な質疑内容については、次号以降に掲載してまいります。



本人の一行日記

10月（神無月）

- 1-2日（県議会）本会議一般質問
- 3日（市内）シルバースポーツ大会に出席
- 4日（市内）学生インターンシップ政策発表会に出席
- 5-6日（県議会）本会議一般質問
- 7日（県議会）議会運営関係の会派打ち合わせ
- 8日（県議会）文教常任委員会審査
- 9日（市内）訪問市民相談
- 12日（市内）事務所にて用務
- 13日（県議会）自然環境・循環社会対策特別委員会審査
- 14日（川口市）戸田中央看護専門学校戴帽式に出席
- 15日（市内）本会議9月定例会閉会
- 16日（県庁）上田知事とのランチミーティング
- 17日（市内）地域福祉まつりに参加
- 18日（市内）市民体育祭に出席
- 19日（新潟市）新潟市の農業教育ファームを視察
- 20日（新潟市）議会運営について新潟県議会議を視察
- 21日（さいたま市）埼玉高速鉄道（株）の経営状況を視察
- 22日（県議会）決算特別委員会審査（総括～企画財政部）
- 23日（さいたま市）小児医療センターの運営について視察
- 24日（市内）戸田商工祭開会式に出席
- 25日（市内）商工祭にスタッフとして参加
- 26日（県議会）決算特別委員会審査（総務部～都市整備部）
- 27日（県議会）下水道事業関係のヒアリング
- 28日（県議会）決算特別委員会審査（企業局～病院局）
- 29-30日（市内）事務所にて用務

11月（霜月）

- 1日（市内）消防協会蔵戸田支部特別点検に出席
- 2日（県議会）危機管理防災関係のヒアリング
- 3日（市内）戸田市表彰式に出席
- 4日（県議会）決算特別委員会審査（危機管理防災部～埼玉県警）
- 5日（県議会）決算特別委員会審査（県民生活部～県土整備部）
- 6日（県議会）決算特別委員会審査（福祉部～教育局）
- 7日（千代田区）日本地方自治学会に参加
- 8日（市内）埼玉県レクリエーション大会に出席
- 9日（市内）訪問市民相談
- 10日（品川区）自転車政策勉強会に参加
- 11日（上尾市）鷹の台高校を視察
- 12日（市内）訪問市民相談
- 13日（県議会）産業労働関係のヒアリング
- 14日（さいたま市）県民の日記念式典
- 15日（市内）戸田マラソンに参加
- 16日（県議会）会派団会議に出席
- 17日（県議会）決算特別委員会審査（産業労働部～農林部）
- 18日（さいたま市）埼玉県戦没者追悼式に出席
- 19日（県議会）決算特別委員会審査（保健医療部～環境部）
- 20日（呉市）国民健康保険事業の改革について視察
- 22日（市内）戸田とことこバルに参加
- 23日（市内）PTAスポーツ交流大会開会式に出席
- 24日（さいたま市）関根教育長との懇談会
- 25日（県議会）議会運営委員会に参加
- 26日（奥多摩町）少子化対策事業について視察
- 27日（市内）事務所にて用務
- 28日（千代田区）オリンピック・パラリンピックシンポジウムに出席
- 29日（市内）戸田市ソフトボール協会40周年記念式典に出席
- 30日（市内）県営戸田公園園内を視察

12月（師走）

- 2日（県議会）本会議12月定例会開会
- 3日（県議会）会派議案説明会に出席
- 4日（市内）青年会議所卒業式に出席
- 5日（市内）市長クリスマス会に出席
- 6日（市内）市民ミュージカル鑑賞
- 7日（市内）歯科医師会懇談会に出席
- 8-11日（県議会）本会議一般質問
- 12日（県議会）自治会長忘年会に出席
- 13日（上尾市）県体協協合理事会に出席
- 14日（県議会）本会議一般質問
- 15日（市内）4会派合同抗議声明発表記者会見に出席
- 16日（県議会）文教常任委員会審査
- 17日（市内）市内団体クリスマス会に出席
- 18日（県議会）自然環境・循環社会対策特別委員会審査
- 19日（市内）少年団忘年会に出席
- 20日（市内）ソフトボールクラブ忘年会に出席
- 21日（県議会）議会運営関係の会派打ち合わせ
- 22日（県議会）本会議12月定例会閉会
- 25日（県議会）浦和競馬組合議会議定例会に出席
- 26日（市内）事務所にて用務
- 28日（市内）市内事業者忘年会に出席
- 29日（市内）事務所にて用務
- 31日（市内）美女木八幡神社年越し挨拶

編集後記

戸田市は今年、市制施行50周年を迎えます。50年前の戸田市の人口は約55,000人でしたが、現在は約135,000人（約2.5倍）まで増加しました。この間、埼京線の開通に合わせた都市整備、教育や福祉といった行政サービスの充実、事業所の運営による雇用確保など、街のめざましい発展の裏には、市内外で政治・経済・行政に献身的に携わってこられた方々の弛まぬ努力と大変な御苦労がありました。

これからの50年を展望するとき、先人のこれまでの功績に改めて感謝しつつ、これまでの地域の歴史と文化、政治と経済を今一度確認することはとても大切です。

次世代、その次の世代に対して、輝く街「戸田」をしっかりと引き継いでいけるよう、市民の皆さんとの出会いを大切に、故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを知る（温故知新）想いで、一日一日、一歩ずつ歩んでまいります。

まじめな政治活動のためのカンパのお願い

しがらみのない無所属で活動し続ける菅原文仁の政治姿勢にご理解を頂ける個人の皆様からのカンパを募集しております。賜りましたカンパは真面目な政治活動のために大切に活用させていただきます。カンパをお寄せくださいました際は、お手数ですが①お名前、②ご住所、③電話番号、④金額を、当事務所までご一報ください。（外国の方からの寄付は受けられません。）
振込口座：ゆうちょ銀行 口座番号：00180-1-782048（他の金融機関からの振込） 店番019 店名〇一九店 口座番号：0782048 「すがわら文仁サポーターズ」